

小倉事業所の 新事務所棟完成

福利厚生を拡充

磯部鉄工

川金ホールディングスグループで産業用機械装置製作や特殊鋳物製造を行う磯部鉄工（本社＝山口県下関市、荒木逸治社長）は創立110周年の記念事業として建設を進めてきた小倉事業所（北九州市小倉北区）の新事務



新事務所棟外観

落成式での荒木社長



所棟が完成した。延べ床面積は旧事務所棟よりも50%拡大し、大ホールや女性更衣室、シャワールームなどを新たに設け、福利厚生を拡充。社員の定着や新規雇用を図るほか、BCP（事業継続計画）を強化した。

新事務所棟の延べ床面積は746平方メートル。今週7日から業務を開始した。同事業所で働く社員75人が収容でき、昼食時などで社員同士が交流できる大ホール「SIC Nexus」や女性の更衣室

やシャワールーム、パウダースペースを設け、女性作業員を受け入れられる体制を整備。

9日には落成式を開催。荒木社長は「チェンジ・チャレンジ・コミュニケーションの3つを大切にし、社是である『ものづくりを通じて、社会に貢献する』を具現化するキーステーションにしたい。次の100年に向けて安心・安全・明るい磯部鉄工にしていきたい」と意気込んだ。

現在地に移転した1973年から使用してきた旧事務所棟は解体し、作業ブースや厚生スペースとして活用する方針で効率化や福利厚生のさらなる拡充を目指す（11日付西日本ネットワークで続報）

